

ナニソレ? バイシツゲン!

美唄湿原フォーラム2024

2024.10/19 (土)

13:00~15:30

出演者



新田 紀敏

北海道立総合研究機構フェロー・北海道大学総合博物館
深川生まれ、旭川育ち。北海道大学農学部卒業後、道庁で森林関係の仕事に携わる。その後植物分類・地理学に手を染め、芦別市にある峠山(きりぎりやま)からギリギシナニワズを報告した。2012年に美唄市(林業試験場)へ来てから湿原・湿地通いが始まる。美唄湿原の植物調査を進めて「美唄湿原の植物相」(2017)を発表。宮島沼の会との協力で地域の植物図鑑「宮島沼と防風林 春の花」「同 夏・秋の花」(2021年)を発行。さらに美唄市内の全植物相を解明すべく調査を継続する一方、猫を溺愛中。



高橋 興世

黒松内町企画環境課 上席主幹
北海道江別市大麻出身。北海道大学理学研究院博士課程修了。平成6年に学芸員採用されセンター長も務めるも、平成21年に突如事務職に異動。紆余曲折を経て生物多様性・環境保全・新エネルギー担当として現在に至る。本町生物多様性地域戦略策定や自然共生サイト登録、北大農学領域との包括連携2者協定、パタゴニア、CAA、朱太川漁協との連携協力4者協定などを手掛ける。「消滅可能性自治体」では十分活用できない黒松内低地帯の豊かな生物多様性(コモンズ)、環境再生型農業等について、意識が希薄な文系業界にもTNFD等をチラつかせて新たな枠組みを模索している。今も理想的な自然史博物館を創出する妄想を抱いている。



原田 綾

NPO法人キウシト湿原・登別 理事長
生まれも育ちも登別の45才。北海道銀行退職後、子育てしながらダブルワークをする普通の主婦です。登別市の子ども会でのイベント企画をきっかけに、2020年にNPO法人キウシト湿原・登別に入会。気づけば2023年理事長就任。キウシト湿原の宝であるミズゴケと共に現在進行形で成長中?です。6人のスタッフと「楽しく保全」をテーマに暑さや虫と戦いながら、外来種駆除や鹿侵入阻止に動んでいます。キウシト湿原では花や来園する子ども達に癒され、休日には趣味の野鳥観察で癒される日々です。



鈴木 玲

石狩川流域湿地・水辺・海岸ネットワーク 代表
北海道の港町出身。水瓶座のA型Rh-。趣味は野草を採って食べたり作ったりすること、タネを採って苗を育てること、ラジオドラマを聴くこと、落語、美味しい酒と肴を仲間と楽しくいただくこと、湿地を興味ない人に知ってもらふこと。歳とともにADHD傾向が強まって、あまたふた事案頻発。活動の整理が急務だが、一向に進まず。



矢部 和夫

札幌市立大学 名誉教授
北海道全域の湿原を熟知している。美々川、ウトナイ湖の自然再生に尽力し、現在は、千歳川遊水地造成による湿地植生の回復に関わる活動など、石狩湿原の復元を目標にした活動を行っている。日本湿地学会会長/幌向再生ワークショップ座長/石狩川流域生態系ネットワーク推進協議会委員/北海道自然保護協会理事 専門分野:湿原生態学



牛山 克巳

宮島沼水鳥・湿地センター センター長
宮島沼のマガンに魅せられて美唄に居着くこと早25年。沼や湿原はもちろん、温泉も含めて湿った場所が大好き。防風林のミズゴケ、道路側溝のカキツバタ、河川敷のエゾサンショウウオなど、かつて美唄に広がっていた大湿原の痕跡を見つけることを無上の楽しみとしています。宮島沼ラムサール登録20周年記念書籍「宮島沼LOVE!」(北海道新聞社)好評発売中!



スケジュール

午前中 美唄湿原ガイドツアー

13:00 開演・趣旨説明

13:10 **基調講演**
「美唄湿原の植物」
新田紀敏 (北海道立総合研究機構フェロー・北海道大学総合博物館)

13:45 **事例紹介**
「歌才湿原公有地化と自然共生サイト登録」
高橋興世 (黒松内町企画環境課 上席主幹)
「市民がつながる湿原」
原田綾 (NPO法人キウシト湿原・登別 理事長)
「石狩湿原の残存湿地」
鈴木玲 (石狩川流域湿地・水辺・海岸ネットワーク 代表)

14:50 マガレンジャーの報告

15:00 パネルディスカッション
「わが町の小さな湿原～その価値と魅力とは?～」
司会:牛山克巳・鈴木玲
パネラー:矢部和夫, 新田紀敏, 高橋興世, 原田綾

15:30 閉会

